

2025
シンポジウム

彫刻を

さわる

時間

「彫刻をさわる時間」シンポジウムの5年目は、これまでの実践を振り返りながら、彫刻をさわって鑑賞することの意義やこれからの活動の展開のあり方について考えます。

シンポジウムにはゲストスピーカーとして朝倉文夫記念館学芸員の佐藤摂子氏をお招きし、さわる彫刻鑑賞の美術館としての取り組みについてお話しいただきます。合わせて実施する大分県立盲学校でのワークショップでは、村上が「粘土場」という空間を創り出し、子どもたちとともに、粘土を用いた作品を制作していきます。

彫刻を

さわる
未来

2025年

11月25日 | 火 |

18:30~20:30

・会場・

大分大学教育学部
附属教育実践総合センター

大分市王子新町一丁目（大分大学 王子キャンパス内）

・対面およびZoomによるオンライン配信

・申込期限：11月22日〔土〕

申込先



参加費 — 無料

参加方法 — 会場（定員/30名）
Zoom（定員/200名）

Web会議ツール「Zoom」での参加希望は、こちらの申し込みフォームからお願いします。

会場での参加を希望される場合は、下記問合せ先にもメールでご連絡ください。その際、駐車場の確保のため、お車の使用の有無もお知らせください。（先着30名）

問合せ先 大分大学教育学部 村上佑介研究室

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

E-mail: y-murakami@oita-u.ac.jp

※お問い合わせはメールでお願いいたします

・パネリスト

佐藤 摂子 ・ 朝倉文夫記念館 学芸員

広瀬 浩二郎 ・ 国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授

篠原 聡 ・ 東海大学 資格教育センター 准教授／松前記念館 学芸員

田中 佐和子 ・ 大分県立中津支援学校 教諭

高橋 泰佳 ・ 大分県立日出支援学校 教諭

村上 佑介 ・ 大分大学 教育学部 准教授

・ファシリテーター

田中 修二 ・ 日本大学 芸術学部 教授

主催／大分大学教育学部 美術講座 協力／大分県立盲学校

佐藤 光子(さとう せつこ)

1969年大分県生まれ。1992年福岡大学人文学部文化学科卒業。同年、学芸員資格取得。大分県朝地町役場勤務を経て、1997年より朝倉文夫記念館勤務。以降、同館の自主事業、大分アジア彫刻展事業の企画・運営等に関わる。2011年より出前講座「外に出る美術館事業」を実施し、教育普及事業にも取り組む。

広瀬 浩二郎(ひろせ こうじろう)

1967年東京都生まれ。13歳のときに失明。筑波大学附属盲学校から京都大学に進学。2000年同大学院にて文学博士号取得。専門は日本宗教史、触文化論。2001年より国立民族学博物館に勤務。現在は人類基礎理論研究部・教授。「ユニバーサル・ミュージアム」(誰もが楽しめる博物館)の実践的研究に取り組み、“さわる”をテーマとする各種イベントを全国で企画・実施。無視覚流鑑賞法の創始者。

篠原 聡(しのはら さとし)

1973年東京生まれ。2006年成城大学大学院文学研究科(美学・美術史専攻)博士課程後期単位取得退学。東海大学課程資格教育センター講師を経て、2012年より同センター(現・資格教育センター)准教授。「ともいきアートサポート事業(神奈川県)」や特別支援学校との連携、屋外彫刻のメンテナンス活動などを通じてユニバーサル・ミュージアムの実践に取り組む。松前記念館学芸員(2008年～)、鎌倉市鍋田清方記念美術館客員研究員(2006年～)、読売新聞アートアドバイザー(2013年～)、秦野市文化振興基金活用懇話会委員(2017年～)、小田原市郷土文化館協議会委員(2019年～)など。

田中 佐和子(たなか さわこ)

1976年大分県生まれ。1999年大分大学教育学部小学校教員養成課程卒業。高等学校の勤務を経て、2008年より大分県立新生支援学校教諭。2011年より大分県立日出支援学校、2017年より大分県立盲学校勤務。同校の特別支援教育コーディネーター、幼稚部担任を経て、現在、大分県立中津支援学校に勤務(2024年より)。

高橋 泰佳(たかはし やすか)

1989年大分県生まれ。2012年京都橘大学文学部歴史学科卒業。同年、学芸員資格取得。2014年兵庫教育大学大学院学校教育研究科特別支援教育専攻修士課程修了。2014年大分県立別府支援学校を経て、2015年より、大分県立盲学校勤務。2019年12月おおいの障がい者芸術文化支援センターセミナープログラムに協力者として参加する。国東市立国東中学校教諭を経て、現在、大分県立日出支援学校に勤務(2024年より)。

村上 佑介(むらかみ ゆうすけ)

1987年愛媛県生まれ。2014年広島大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士(学術)。大阪城南女子短期大学講師を経て、2020年より大分大学教育学部講師、2022年准教授。専門は彫刻制作、美術教育。主な作品に《不自由な抱擁》(「第45回日彫展」日彫賞受賞、2015年)、《そしてまた夢を見る》(「第46回日彫展」日彫賞受賞、2016年)などがある。日本彫刻会研究誌編集委員(2022年～)、大学美術教育学会会員(2012年～)。

田中 修二(たなか しゅうじ)

1968年京都市生まれ。成城大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士(文学)。専門は近現代日本美術史。大分大学教育学部教授を経て、2024年より日本大学芸術学部美術学科教授。屋外彫刻調査保存研究会運営委員。主な著書に、『近代日本彫刻史』(2018年)、『福田平八郎 人と言葉』(2024年)など。2007年度より大分市と連携して屋外彫刻作品のメンテナンスを実施(現在は村上佑介氏が引き継いで継続)。

SYMPOSIUM IN OITA

18:30 - 20:30, NOVEMBER 25, 2025

・プログラム

- 18:30 • あいさつ
- 18:35 • 主旨および概要の説明(田中 修二)
- 18:50 • 基調報告:村上 佑介
- 19:10 • 休憩
- 19:20 • パネルディスカッション
- 20:20 • 質疑応答～閉会の言葉(-20:30)



彫刻を

さわる
時間彫刻を
さわる
未来